

# 臨時農業生産情報

(降霜に対する技術対策)

令和8年4月28日  
青森県「農林水産力」強化本部

青森地方气象台によると、県内では、4月29日の朝は冷え込み、平野部でも霜のおりるおそれがあり、今後数日も降霜に対する注意が必要です。

この時期の農作物は、降霜等の影響を受けやすく、特にりんご等果樹の開花期は、最も低温に弱い時期となることから、今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

## 1 りんご等果樹

- (1) 防霜ファンが設置されている園地では、ファンの始動温度を2℃に設定し、著しく低温になったときは、燃焼法を併用する。
- (2) 燃焼法では、気温が0℃になったら燃焼資材に点火する。
- (3) ぶどうの無加温ハウスでは、石油ストーブ等で加温する。
- (4) 結実量を確保するために人工受粉を丁寧に行う。

## 2 水稲

- (1) ハウス育苗では、保温資材で被覆するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル育苗では、保温資材で二重被覆するか育苗箱の肩の高さまで湛水する(排水良好な苗代に限る)。
- (3) 霜害を受けた場合は、速やかに苗に散水し、被害の軽減に努める。

## 3 野菜・花き

- (1) ハウス栽培では、保温資材で被覆するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル栽培では、保温資材で二重被覆する。
- (3) 露地栽培では、べたがけ資材で被覆する。
- (4) 被害を受けても回復の見込みがある場合は、早急に葉面散布剤などの散布により、回復に努める。また、苗の定植は、天候の回復を待って行う。
- (5) 降霜日は、早朝が低温であっても、日中は晴天によりハウス内やトンネル等被覆資材下の温度が急上昇することがあるため、適切に換気を行う。

報道機関用提供資料					
担当課 担当者	(りんご等果樹)		りんご果樹課生産振興グループ GM 工藤 秀樹		
	(水稲)		農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 鈴木 晃		
	(野菜・花き)【発行元】		農産園芸課野菜・花き振興グループ GM 木村 一哉		
電話番号	(りんご等果樹)	直通	017-734-9492	内線	5146
	(水稲)	直通	017-734-9480	内線	5073
	(野菜・花き)	直通	017-734-9481	内線	5076
報道監	農林水産部 次長 相馬 宏伊 (内線：4967)				

## 【おしらせ】

ツキノワグマ出没警報発令中です。農作業は、1人での作業を避け、ラジオやクマよけスプレーを携帯するなど、人身被害の防止に努めましょう。

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農ナビ青森」からお申し込み下さい。

農ナビ青森のHPアドレス

(<https://www.nounavi-aomori.jp/>)

「トップページ」 → 「農業情報ページ」 → 「農業情報」  
に掲載



農ナビ青森 QRコード